アジア国際社会福祉研究所 kara

No.38 2022.2.17

編集·発行責任者 山口 光治

国際学術フォーラム開催報告

研究所始まって以来最大規模の国際フォーラムとなりました!



第6回淑徳大学アジア国際社会福祉研究所(ARIISW)国際学術フォーラムが今回取り上げた「グローバル化する国内社会福祉にあって何が国際ソーシャルワークなのか?」というテーマに、アジア、アフリカ、オセアニア、ヨーロッパ、北米から752名の事前登録があり、当日リアルタイム視聴者数は327名という研究所設立以来の大イベントとなりました。

参加者の参加動機は「国際ソーシャルワークに関心がある」が最も高く(73.6%)、研究所に関心がある。浅野貴博先生(ルーテル学院大学)には、日本のソーシャルワーカーが感じるアイデンティティの揺らぎと、英

語で書かれているソーシャルワーク教育の難しさをお話いただきました。リナ・ドミネリ先生(スターリング大学)の基調講演は、国際ソーシャルワークのキーワードに端を発し、環境正義とグリーンソーシャルワークへとつながるお話をいただきました。フォーラム参加者からは「大変勉強になった」「また参加したい」という声が相次いで寄せられ、アンケートでは90%を超える人々が「満足している」と回答してくださいました。本フォーラムの成功は、ご後援頂いた日本ソーシャルワーク学会、日本社会福祉学会、日本社会福祉教育学会、日本ソーシャルワーク教育学校連盟の皆さまと、研究所活動にご関心を寄せていただいたすべての皆さまのご支援があったからこそと改めて御礼申し上げます。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。